

令和7年（2025年）10月10日
子ども文教委員会資料
子ども教育部育成活動推進課

次世代育成委員の今後のあり方について

本年度は次世代育成委員（以下、「委員」という。）の改選年度にあたるが、前回改選以降、地域の子育てを取り巻く環境が大きく変化している。

こうした状況を踏まえ、委員の今後のあり方について、以下のとおり報告する。

1 現状と課題

委員は、地域における子育て・子育ちの支援活動、並びに家庭、地域及び学校の連携の推進を目的として設置されており、学校及び地域行事の参加や地区懇談会の運営等の活動を行っている。

しかしながら、委員の約半数が兼任している学校運営協議会の地域コーディネーターと、地域のネットワーク構築における役割が重複しており、兼任委員や関係団体からは委員の役割の見直しを求める声が上がっている。

また、令和7年度から配置している基幹型児童館においても、中学校区内における地域連携の促進が役割の一つとされている。

2 今後のあり方

こうした役割の重複や当事者、地域の意見を踏まえ、委員の役割を整理し、体制の見直しを行うこととする。令和10年度以降、委員の役割を地域コーディネーターと基幹型児童館に継承し、委員の委嘱を終了する。

（1）令和8～9年度

令和10年度の完全移行に向けた準備期間として、令和8～9年度は第7期委員を設置し、子育て・子育ちネットワークの継続を図る。任期は、児童館運営・整備推進計画に基づいた児童館の3類型への移行や学校運営協議会活動の定着を見据えた2年間とする。

なお、第7期委員には、地域コーディネーター等の円滑な活動に向けて、知見や経験の共有、継承を意識した活動が求められるため、第6期委員からの再意向を優先し、定数を満たさない中学校区においては推薦会を開催する。

（2）令和10年度以降

委員の役割は、以下のとおり地域コーディネーター及び基幹型児童館に継承していく。

- ア 「学校行事の参加」「地域行事の参加」は地域コーディネーターに継承
- イ 「児童館行事の参加」「地域子ども施設との連携」は地域コーディネーター及び基幹型児童館に継承
- ウ 「地区懇談会の運営」は方法を検討のうえ、基幹型児童館を中心に実施

3 今後のスケジュール（予定）

令和 7年 12月～令和8年 1月	推薦会開催
令和 8年 4月	第7期委員委嘱
令和10年 3月	第7期委員任期満了